



「会社情報」サイトや「IR情報」サイト等で最新情報をお届けしています。

① 「会社情報」サイト ▶ <http://www.t-gaia.co.jp/company/index.html>



### 販売拠点情報

新規直営店舗(移転を含む)

**福島県**  
平成24年4月20日  
ドコモショップ  
船引店

**茨城県**  
平成24年4月20日  
ドコモショップ  
石下店

**埼玉県**  
平成24年9月7日  
ソフトバンク  
越谷中央

**東京都**  
平成24年9月7日  
ドコモショップ  
亀戸店



② 「IR情報」サイト ▶ <http://www.t-gaia.co.jp/ir/index.html>



### IRイベント情報(下期)



日本経済社主催  
**個人投資家向け  
会社説明会**

平成24年12月15日(土)  
開催予定

直近の決算説明会の映像をパソコン、スマートフォン、タブレット型端末でご覧いただけます。

スマートフォン対応版も  
オープンいたしました。



当社グループでは、株主の皆様からのご意見・ご質問をお受けしております。メール等にてお気軽にお寄せください。株主通信に関するご意見もお待ちしております。



**株式会社ティーガイア**

〒150-8575 東京都渋谷区恵比寿4-1-18  
TEL:03-6409-1111 (代) E-mail:tg-ir@t-gaia.co.jp



本紙は、FSC認証紙と植物性インキを使用しています。



モバイル事業



ソリューション事業



決済サービス事業他

**株式会社ティーガイア**

# 株主通信 vol.14

## 第22期 第2四半期(累計)

平成24年4月1日~平成24年9月30日

### CHALLENGE TOMORROW



東証第一部 3738

-  モバイル事業
-  ソリューション事業
-  決済サービス事業他

## 株主通信

vol.14

### 目次

企業理念と行動指針	1
株主の皆様へ	2
連結業績ハイライト／経営概況	3
トピックス	5
モバイル事業	7
ソリューション事業	9
決済サービス事業他	10
第2四半期(累計) 連結財務諸表(要旨)	11
株主様アンケート結果及び Q&A(自由意見欄より)	12
会社情報	13

## 企業理念 Corporate Philosophy

我々は、社会の夢と豊かさの実現に貢献し、

Tomorrow 「明日」に向かって  
Integrity 「誠実」に  
Challenge 「挑戦」し続けます。

## 行動指針 Conduct Guideline

持続性と透明性の確保を目指し、  
様々なステークホルダーを視野に入れつつ、  
企業の社会的責任(CSR)を積極的に果たします。

### 社会 Society

社会とのコミュニケーションを図り、  
積極的な社会貢献活動に  
取り組んでいきます。

### 株主 Shareholders

説明責任を重視し、適正なガバナンス及び  
コンプライアンス体制の維持・運営に  
取り組み、企業価値の更なる向上を  
目指します。

### お客様 Customers

お客様からの信頼に応える企業として、  
顧客第一主義に基づき、  
常に最高のサービスを提供し続けます。

### 従業員 Employees

社員一人一人の個性と創意を尊重し、  
風通しの良い、働き甲斐のある企業で  
あり続けます。

## 株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。  
また、平素は格別のご高配やご厚情を賜り、厚くお礼申し上げます。

スマートフォンの更なる需要の拡大、クラウド・コンピューティン  
グや高速データ通信サービスの本格化、固定網との融合サービス  
の導入など当社のコアビジネスである携帯電話業界の市場環境  
は大きな転換期を迎え、携帯電話事業者間の加入者獲得競争は激  
しくなり、店頭での販売を担う当社をはじめとする販売代理店を取  
り巻く環境も日々変化しております。

このような事業環境の下、当上期において当社グループは、前  
年同期と同水準の約303万台の携帯電話を販売し、当上期のス  
マートフォン販売比率は前年同期の4割弱から6割超へと大幅に  
上昇いたしました。更に、決済サービス事業における取扱高の伸長  
もあり、全社ベースで前年同期比約7%の増収を確保いたしまし  
た。携帯電話の販売店頭での業務負荷や量販店販路におけるコス  
ト負担等が増し、販売管理費が増加したことから、同約17%の  
減益となりました。

## 配当について

業績の進展状況に応じて、将来の事業展開と経営基盤の強化のために必要  
な内部留保を確保しながら、配当性向30%以上を目途として利益還元を  
実施してまいります。

(注)平成24年9月30日を基準日、同年10月1日を効力発生日として、1株につき200株の割合で株式分割を実施しております。  
上記の平成25年3月期 中間配当金は、株式分割考慮前の数値を記載しております。

当社グループではこのような変化をコミュニケーション社会の  
新たな可能性を拓く好機と捉え、コンシューマー向けには、専門性  
を備えたより質の高い販売スタッフの育成を目的として、当期から  
教育研修機関「TGアカデミー」を開設し、携帯電話の店頭での販  
売力と販売品質の向上を図るとともに、スマートフォンのアクセサ  
リー等の周辺商材の販売を強化しております。一方で、企業向けに  
は、各社のスマートフォンの導入・運用・管理面でのニーズに合わ  
せたソリューションパッケージ「T-GAIA Smart SUPPORT」等を  
提供することによって、法人顧客への販売促進を進めております。

また、インターネット上での電子決済額の増加に伴い、従来型の  
プリペイド決済サービスに加えて、昨年から開始したギフトカード  
も順調に推移しており、新たに取り組んだギフトカードモールにつ  
いては、決済ブランドと販路を共に順次拡大していくことで更なる  
収益増を図ってまいります。

一方、当社グループが中国の大手通信事業者である中国聯合網  
絡通信有限公司上海市分公司(チャイナユニコム上海市会社)との  
業務提携に基づき、平成22年夏に天閣雅(上海)商貿有限公司(現  
地法人)を設立し、チャイナユニコムショップ第1号店を上海にオー  
プンしてから、お陰様で2周年を迎えました。本年7月末現在、上  
海市内に6店舗の出店となり、また、中国に進出している日系企業  
様の携帯電話の運用・管理業務の受託なども始まっております。

上記の取組みに加えて、当社は、コンプライアンス体制の更なる  
強化を図るために、本年9月にコンプライアンス推進部を新たに設  
け、全従業員の意識向上、不正防止の仕組み作りなど徹底した取  
組みを今後も進め、持続的な成長の実現に努めてまいりますので、  
今後ともご支援・ご鞭撻の程をよろしくお願い申し上げます。

平成24年12月  
代表取締役社長執行役員

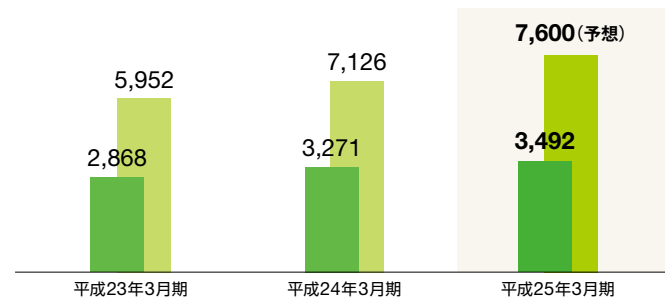
木村政昭

平成25年3月期  
中間配当金 3,500円 (分割考慮前)

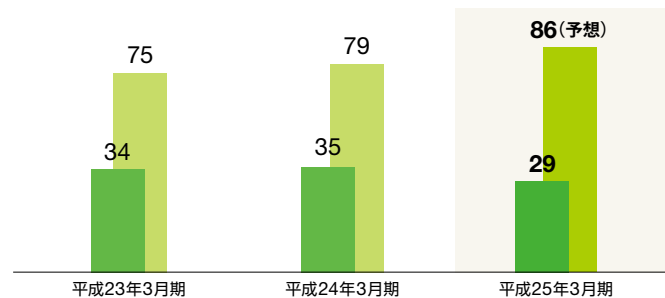
# 連結業績ハイライト／経営概況

■ 第2四半期(累計) ■ 通期

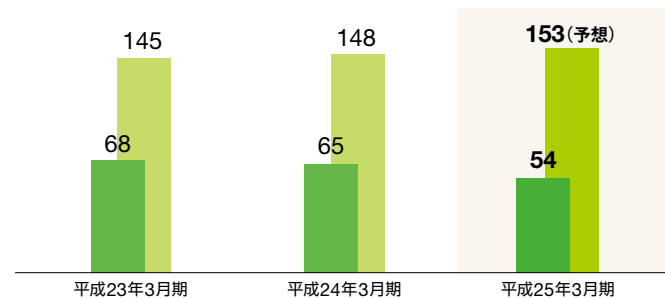
## ◆ 売上高 (億円)



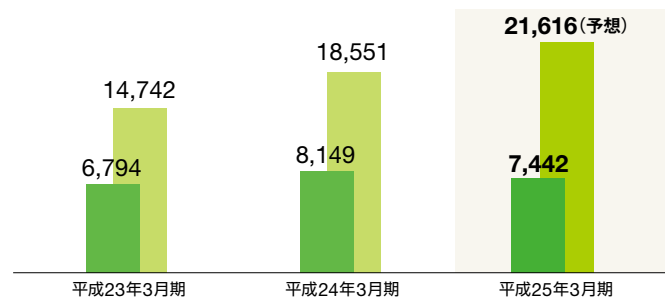
## ◆ 四半期(当期)純利益 (億円)



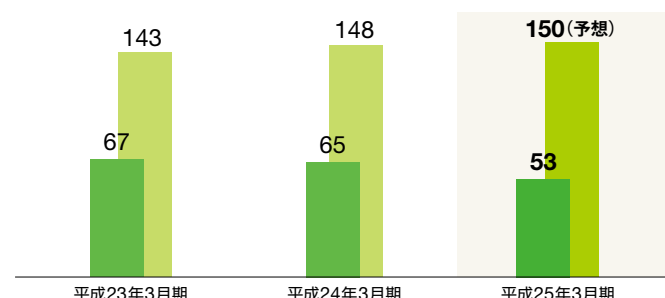
## ◆ 営業利益 (億円)



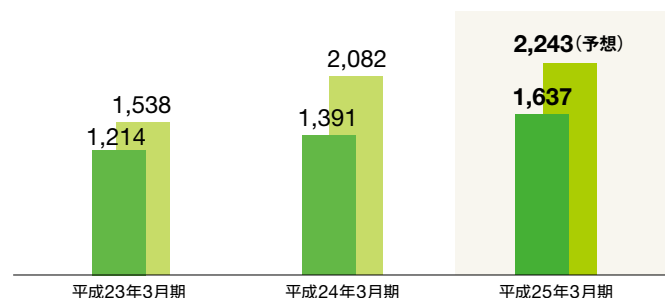
## ◆ 1株当たり四半期(当期)純利益 (円)



## ◆ 経常利益 (億円)



## ◆ 総資産 (億円)



※平成24年3月期 第2四半期(累計)以前の数値につきましては、参考情報として単体数値を記載しております。  
 ※平成25年3月期の1株当たり四半期(当期)純利益は、自己株式消却後の発行済株式数に基づいて算出してあり、株式分割考慮前の数値を記載しております。

## ◆ 平成25年3月期 第2四半期累計期間の業績

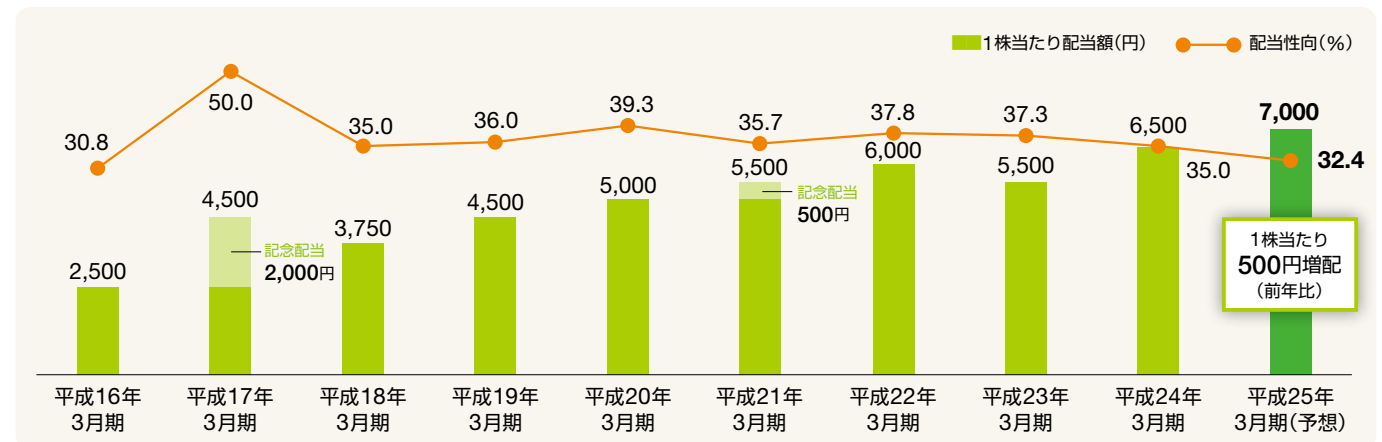
当第2四半期連結累計期間(平成24年4月～9月)におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興を背景とした企業の設備投資の持ち直しや個人の消費活動の増加が見られる等、緩やかな回復基調にありました。一方で、欧州の財政不安による世界経済の減速や円高傾向が続く等、依然として先行きは不透明な状況にあります。

当社グループ(当社および連結子会社)の主な事業分野である携帯電話等販売市場においては、新機種の相次ぐ投入や通信事業者の販売促進施策が活発に展開されたこと等により、販売は引き続き堅調に推移いたしました。このような事業環境下、当社グループはスマートフォンを中心に販売活動に注力した結果、携帯電話販売台数は前年同期とほぼ同水

準となり、スマートフォンの販売比率は6割を超える水準となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高3,492億59百万円、営業利益54億26百万円、経常利益53億65百万円、四半期純利益29億86百万円となりました。

なお、当社グループは、第1四半期連結会計期間よりセグメント区分を「モバイル事業」、「ソリューション事業」、「決済サービス事業他」に変更しております。前連結会計年度まで「モバイル事業」に含めておりました法人向けの携帯電話販売事業等と従来の「ネットワーク事業」を「ソリューション事業」として統合し、「プリペイド決済サービス事業他」の名称を「決済サービス事業他」に変更しております。

## ◆ 配当の推移(円)



※平成25年3月期の配当予想は、自己株式消却後の発行済株式数に基づいて算出してあり、株式分割考慮前の数値を記載しております。

## トピックス

日本最大級の通信関連販売会社としての「総合力」を活かし、次世代に向かって進化を続ける当社グループのトピックスをご紹介します。

### 「TGアカデミー」開校

本年4月に、販売スタッフの教育・研修を行う、社内教育機関「TGアカデミー」を開校いたしました。「TGアカデミー」では、販売スタッフの「現場力」を増強し、「販売品質の向上」を通じてより一層CS（顧客満足）を高めるべく、日々活動を行っています。



### 上海でチャイナユニコムショップの6店舗目をオープン

上海市内にチャイナユニコムの携帯電話ショップ「チャイナユニコム 威宁路店」を新たにオープンし、平成24年7月末現在、6店舗となりました。ショップにおいては、日本式のサービスと接客で、現地在住の日本人や中国人から広く支持されています。



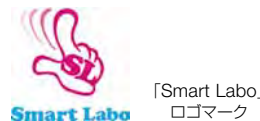
### ユーザーニーズに対応し、お客様のスマートフォンライフ充実に向けたご提案を実現するスマートフォン向けアクセサリ専門ショップ「Smart Labo」を新設・展開



当社グループは、「Smart Labo」の展開を通じて、スマートフォンユーザーの皆様が日常生活において、より楽しくスマートに、各々の個性を発揮できる生活環境の創出を目指し、顧客ニーズに即したスマートフォンライフ充実のための提案を行っていきます。今後は、全国において順次店舗をオープンする予定であり、多数のユーザーの集客が期待できる集合施設や商店街などでの出店を検討しています。

【店舗】2012年11月20日 広島本通(広島県)  
2012年11月22日 松本パルコ(長野県)  
2012年11月29日 ゆめタウン三豊(香川県)

※今後の計画は、2013年中にその他、大阪府等のエリアにて順次展開予定



### 新たなプリペイドカードの取扱いを開始

グリー社運営のSNS「GREE」の中で、有料アイテム購入に必要な「GREE」のコイン(仮想通貨)をカード化した「GREEプリペイドカード」の取扱いを開始。



※GREEは、グリー株式会社の登録商標です。

ソースネクスト社のプリペイド型Android™スマートフォン向けアプリをカード形式で携帯電話ショップにて販売を開始。

コピーライト表記©SOURCENEXT CORPORATION



※Androidはグーグル インコーポレイテッドの登録商標です。

サーバー管理型電子マネーのビットキャッシュをプリペイドカード形式の「ビットキャッシュカード」として、ティーガイアが運営する携帯電話ショップにて販売開始。



### 国内初となるコンビニエンスストアでのVisaプリペイド取扱い開始

コンビニエンスストアに設置されたマルチメディアキオスク端末において、ティーガイアの決済サービス事業で展開中の新たなPIN(※)商材として、Visaプリペイド「Vプリカ」の取扱いを開始。



※PIN(Personal Identification Number):暗号化された英数字などを組み合わせた文字列で、金額情報が関連付けられた暗証番号。

### 当社のCSR(企業の社会的責任)活動



当社グループでは昨年につき本年11月に、東日本大震災の被災地へのボランティアバスツアーを実施いたしました。本ツアーへは社員約30名が参加し、宮城県本吉郡南三陸町において、被災者の方々の所有地を畑として利用するための復興作業を行いました。

今後も地域の清掃活動等をはじめとして、「社員参加型CSR活動」の一環として、様々なボランティア活動を推進してまいります。



# モバイル事業

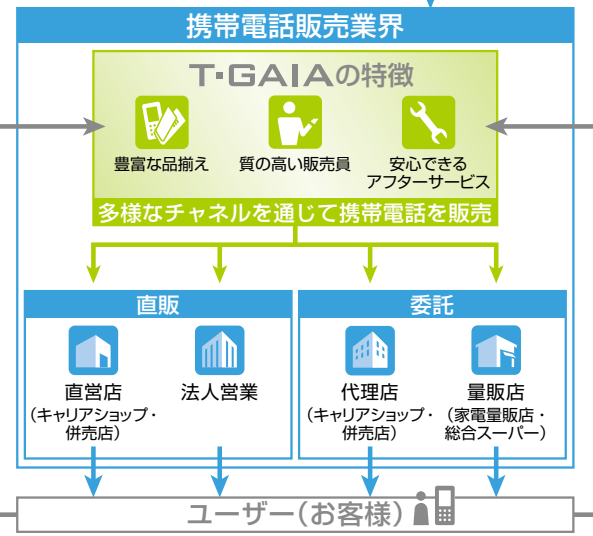
事業内容 携帯電話等の販売及び代理店業務

営業利益  
セグメント別  
構成比

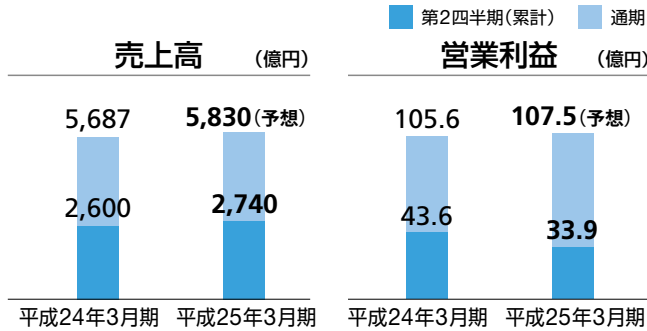
62.5%

## 業界におけるティーガイアの役割と位置付け

通信事業者にとって販売代理店は、日々多くのユーザーと接する販売チャネルとして機能しており、通信事業者とメーカー、そしてユーザーの橋渡しをし、携帯電話の流通を円滑化しております。



## 業績



新機種が相次ぐ投入や通信事業者の販売促進施策等により販売が好調であったスマートフォンの拡販に注力するとともに、スマートフォン関連のアクセサリーを含めた周辺商材等の販売強化に積極的に取り組んだ結果、売上高は2,740億円となりました。

当社グループでは、更なる顧客満足度向上とスマートフォン販売比率上昇に伴う店頭業務負荷増加への対応のため、販売スタッフの教育・研修および店舗・販売体制の拡充に向けて新たな組織を設置し、全社一丸となって取り組みました。しかしながら利益面においては、採算性の低い非音声系商材の販売増加に加え、量販店販路における販売コストの負担が増加した結果、営業利益は33億93百万円となりました。

## 当社グループキャリアショップ店舗数(直営店・代理店含む)(平成24年9月末現在)

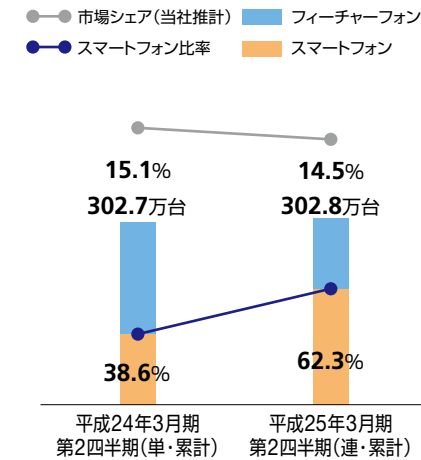
ドコモショップ 284店 (内直営店 173店<4>)	auショップ 446店 (内直営店 119店<55>)	ソフトバンクショップ 507店 (内直営店 59店<25>)	イー・モバイルショップ 5店 (内直営店 1店)	ウィルコムショップ 24店	チャイナユニコムショップ(上海) 6店 (内直営店 6店)	合計 1,272店 (内直営店 358店<84>)
-----------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------	------------------	-------------------------------------	---------------------------------

〈 〉…量販店インショップ(DSサービスコーナー、auスクエア、SBサイト、SBステージ)の店舗数。直営店としてカウントしております。

## 今後の取組み

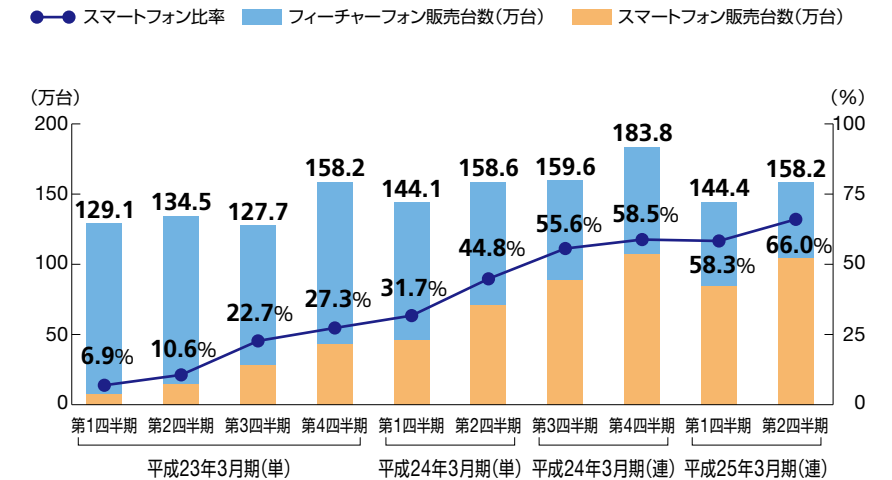
### 通信事業者の販売施策を踏まえた スマートフォンの販売力強化並びに販路ごとの採算改善

#### 当社グループ販売台数と市場シェアの推移(国内)



※販売台数・市場シェア算出には法人顧客向けの販売台数を含めています。

#### 当社グループ販売台数とスマートフォン比率の推移(国内)： 四半期ベース(主要3キャリア)



## スマートフォン「アンドロイド」系端末用ケース初登場

国内で初めて、音楽系アルバム・ジャケットやアーティスト写真のスマートフォンケース、「MUSIC SMARTPHONE CASE」シリーズのAndroid端末用ケースの取扱いを開始いたしました。この商品は、iPhoneシリーズのケースとして大変人気があり、平成24年7月末現在、3万個以上の販売実績のある商品です。このたび、NTTドコモの「ギャラクシーSⅢ」の販売に合わせ、当シリーズ中で販売数量の

半数を占める人気の高い10タイトルを厳選し、ギャラクシーケースとしては、国内で初めてティーガイアが先行独占販売を行うこととなりました。ビートルズの有名なアルバム・ジャケットをデザインしたものを中心に10タイトルを販売。ユーザーは、スマートフォンを好みに合わせてカスタマイズすることができます。





## ソリューション事業

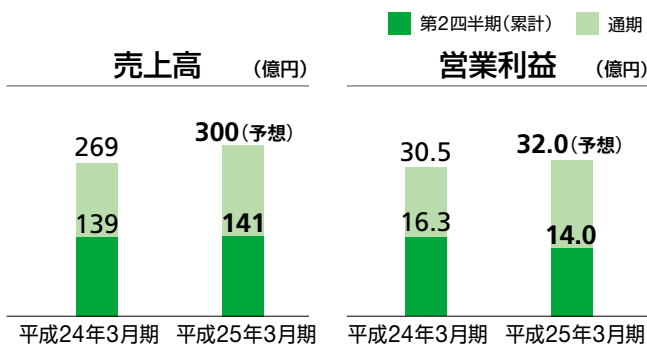
### 事業内容

企業向けを中心とした通信ソリューションサービスの提供、固定通信サービスの販売取次業務

営業利益  
セグメント別  
構成比

26.0%

### 業績



法人顧客向けの従来型の携帯電話端末の販売に加え、企業のスマートフォン・タブレット型端末導入および管理業務の各種サポートサービスの獲得も堅調に推移いたしました。また、固定系商材の販売においては、当初の見込み通りマイラインサービスの新規販売は大幅に減少したものの、FTTH等光回線サービスの販売は堅調に推移いたしました。その結果、売上高は141億7000万円、営業利益は14億7000万円となりました。

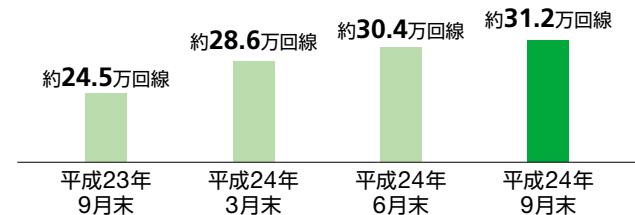
### 今後の取り組み

#### 法人営業

#### 企業向けのスマートフォン / タブレット端末導入の本格化

◆ ASPサービス「movino star」を核とした回線管理サービスの強化

〈movino star 加入回線数の推移〉



◆ アクセサリー等周辺商材の拡販

#### ネットワーク事業

- 事業パートナーとの更なる連携強化
- 周辺商材の獲得強化

◆ 「TG Smart Support」をはじめとする顧客利便性の高いソリューションサービスの提供



## 決済サービス事業他

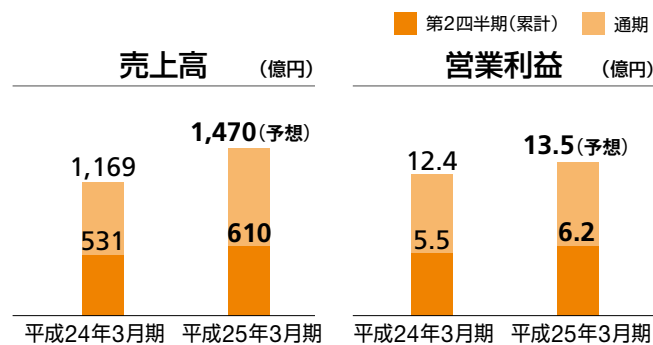
### 事業内容

決済サービス、その他新規事業

営業利益  
セグメント別  
構成比

11.5%

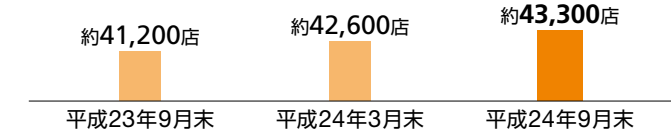
### 業績



ネット通販やSNS (Social Networking Service)\* 上での決済に利用できる電子マネー系商材の販売が引き続き好調に推移いたしました。その結果、売上高(取扱高)は610億8800万円、営業利益は6億2600万円となりました。

※ 人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型のWebサイト。

〈PIN取扱い店舗数の推移〉



### 今後の取り組み

#### PIN 商材、ギフトカード事業における取扱い商材・販売チャネルの多様化

10月16日より「ビットキャッシュカード」を、11月13日よりDeNAの「Mobage モバコインカード」を全国のローソンにおいて販売開始



※「Mobage」は株式会社ディー・エヌ・エーの登録商標です。

#### 中国での携帯電話販売事業

- 日本式サービスによるCS(顧客満足度)の向上
- 多店舗展開による相乗効果の発揮
- 日系企業の回線管理業務のサポート体制強化

#### PIN 販売のしくみ

事業者 (サービス提供者)

PIN ▼ ▲ 支払い

#### T-GAIAの役割

PINサーバの管理

PINコードの発券



取扱い  
コンビニエンス  
ストア

セブン-イレブン

ローソン

サークルK

サンクス

ファミリーマート

ミニストップ

デイリーヤマザキ

セイコーマート

北海道スパー

PIN ▼



コンビニ

支払い



ユーザー

PIN

コンビニで支払い

PINナンバー入力 ▼ ▲ 提供

サービス

## 第2四半期(累計)連結財務諸表(要旨)

### ◆ 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

区分	期別	
	当第2四半期(連) 平成24年9月30日現在	前期(連) 平成24年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	146,451	189,867
固定資産	17,258	18,366
有形固定資産	3,002	3,171
無形固定資産	7,266	7,999
投資その他の資産	6,989	7,195
<b>資産合計</b>	<b>163,709</b>	<b>208,233</b>

区分	期別	
	当第2四半期(連) 平成24年9月30日現在	前期(連) 平成24年3月31日現在
<b>負債の部</b>		
流動負債	118,152	165,871
固定負債	19,669	14,311
<b>負債合計</b>	<b>137,822</b>	<b>180,183</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	25,870	27,997
資本金	3,099	3,098
資本剰余金	5,585	5,585
利益剰余金	17,186	32,052
自己株式	—	△12,740
その他の包括利益累計額	16	52
<b>純資産合計</b>	<b>25,887</b>	<b>28,050</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>163,709</b>	<b>208,233</b>

### ◆ 四半期損益計算書

(単位:百万円)

区分	期別	
	当第2四半期(連) 平成24年4月1日～ 平成24年9月30日	前第2四半期(単) 平成23年4月1日～ 平成23年9月30日
売上高	349,259	327,191
売上総利益	32,975	30,670
営業利益	5,426	6,543
経常利益	5,365	6,500
税金等調整前四半期純利益	5,343	6,484
<b>四半期純利益</b>	<b>2,986</b>	<b>3,535</b>

### ◆ 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区分	期別	
	当第2四半期(連) 平成24年4月1日～ 平成24年9月30日	前第2四半期(単) 平成23年4月1日～ 平成23年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	12,527	3,052
投資活動による キャッシュ・フロー	△755	△743
財務活動による キャッシュ・フロー	△12,534	△1,881
現金及び現金同等物の 四半期末残高	1,214	1,732

※四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書の前第2四半期の数値につきましては、参考情報として単体数値を記載しております。

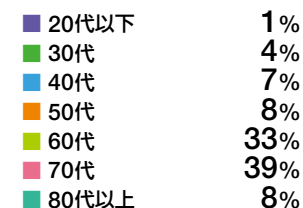
## 株主様アンケート結果及びQ&A(自由意見欄より)

※調査期間 平成24年6月～平成24年8月

当社グループは、株主・投資家の皆様へのタイムリーで的確な情報開示を心がけ、積極的なIR活動を行っております。株主の皆様とのコミュニケーション促進を図るべく、同封させていただきましたアンケートに対して、おかげさまで多数の皆様からご回答やご意見をいただくことができました。その結果及び自由意見欄にご記入いただいたご要望への当社対応の一部につきまして、ご報告させていただきます。ご協力、誠にありがとうございました。

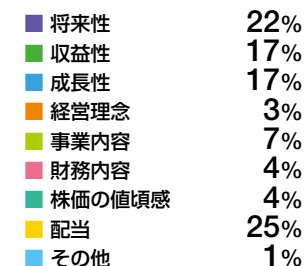


### 年齢層



- 最多ゾーンは「70代」ですが、「20代～50代」までの割合が20%となっており、株主様が低年齢層へも広がっていることがうかがわれます。

### 株式購入ポイント



- 株式を購入したポイントとして「配当」が最多となっており、次いで「将来性」「収益性」「成長性」とご回答されております。

### 自由意見欄におけるご質問にお答えします

**Q** 社名「ティーガイア」の由来を教えてください。

**A** ティーガイアの「ティー」は「Tomorrow」のTであり、「ガイア」は「ギリシャ神話の大地の女神」を語源とし、「ひとつの巨大な生命体として考えられた地球」を表しています。本社は、「明日(未来)に向かって誠実に挑戦し、全世界の人々の生命を育む、地球のような雄大な企業を目指す」との意味を込めて命名しました。

**Q** 東京だけでなく地方でもぜひ、個人投資家向けイベントを開催してほしい。

**A** ご要望にお応えして、今上期は名古屋と大阪においても、個人投資家向け会社説明会を開催いたしました。

**Q** 株式分割と単元株制度の採用について教えてください。

**A** 当社グループは平成24年10月1日を効力発生日として1株を200株とする株式分割を実施し、あわせて、100株を1単元とする単元株制度を採用いたしました。これにより投資単位を実質的に2分の1に引き下げ、株式の流動性を高め、投資家層の更なる拡大を図ってまいります。

株式分割  
1株 ⇒ 200株

単元株制度の採用  
1株 ⇒ 100株

効力発生日：平成24年10月1日

当社グループでは、皆様からの貴重なご意見を今後のIR活動等に反映させるべく努力し、引き続き企業価値の向上に取り組んでまいります。

# 会社情報

## 株式情報 (平成24年9月30日現在)

発行可能株式総数	2,000,000株
発行済株式総数	394,438株
株主数	7,239名

## 大株主 (平成24年9月30日現在)

氏名または名称	所有株式数	持株比率
三菱商事株式会社	116,727株	29.59%
住友商事株式会社	116,727株	29.59%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	24,508株	6.21%
株式会社光通信	23,084株	5.85%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	19,612株	4.97%
全国共済農業協同組合連合会	5,500株	1.39%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	3,694株	0.93%
ティーガイア従業員持株会	3,229株	0.81%
野村信託銀行株式会社(投信口)	2,553株	0.64%
ザチースマンハッタンバンクエヌイロボンズエイルコムバリアカウト	1,749株	0.44%

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の 本店および全国各支店で行っております。
公告掲載方法	当社ホームページにおける電子公告
会計監査人	有限責任監査法人トーマツ

## 会社概要 (平成24年9月30日現在)

商号	株式会社ティーガイア (T-Gaia Corporation)
本社所在地	〒150-8575 東京都渋谷区恵比寿4-1-18 恵比寿ネオナート14F～18F
資本金	3,099百万円
設立	平成4年2月
事業内容	(1)携帯電話等の販売及び代理店業務 (2)ソリューション、ブロードバンド等 通信サービスの販売取次業務 (3)決済サービスその他新規事業
販売地域	日本全国
従業員数	3,668名

## 本社・支社・支店 (平成24年9月30日現在)

本社	〒150-8575 東京都渋谷区恵比寿4-1-18 恵比寿ネオナート14F～18F TEL:03-6409-1111
東日本支社	〒150-8575 東京都渋谷区恵比寿4-1-18 恵比寿ネオナート16F TEL:03-6409-1111
西日本支社	(平成24年11月25日まで) 〒556-0017 大阪府大阪市浪速区湊町1-4-38 近鉄新難波ビル14F～16F TEL:06-6630-3600 (平成24年11月26日以降) 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島1-6-20 堂島アバンザ15F TEL:06-4560-6600
東海支社	〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-11-11 名古屋インターシティ6F・7F TEL:052-223-8700
九州支社	〒812-0038 福岡県福岡市博多区祇園町7-20 博多祇園センタープレイス10F TEL:092-283-7600

## 役員 (平成24年9月30日現在)

代表取締役社長執行役員	木村 政昭
代表取締役副社長執行役員	竹岡 哲朗
取締役副社長執行役員	片山 文平
取締役副社長執行役員	藤原 宏包
取締役(社外取締役)	内藤 達次郎
取締役(社外取締役)	宮下 修
取締役(社外取締役)	長谷川 大幾
取締役	福島 守司
常勤監査役(社外監査役)	田尾 尚治
常勤監査役(社外監査役)	筏井 誠
監査役(社外監査役)	遠藤 元一
監査役(社外監査役)	山口 克彦

北海道支店	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西8-2 住友商事・フカミヤ大通ビル8F TEL:011-241-2525
東北支店	〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町2-15-1 ルナール仙台13F TEL:022-713-6001
新潟支店	〒950-0994 新潟県新潟市中央区上所1-1-24 エヌビル3F TEL:025-247-7077
長野支店	〒380-0921 長野県長野市栗田991-1 イーストゲート長野ビル6F TEL:026-267-7220
北陸支店	〒920-0031 石川県金沢市広岡3-1-1 金沢パークビル3F TEL:076-222-3300
中国支店	〒730-0037 広島県広島市中区中町8-12 広島グリーンビル8F TEL:082-546-2811
四国支店	〒760-0017 香川県高松市番町1-1-5 ニッセイ高松ビル9F TEL:087-811-2361

### ご注意

#### 住所変更のお申出先について

株主様の口座のある証券会社等にお申出ください。  
なお、証券会社等に口座がないため特別口座で管理されている株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

#### 配当金計算書について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。なお、株式数比例配分方式によりお受取りの株主様の「支払通知書」につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。  
※ 確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。